

# HDL-TA シリーズ

## ガイドブック

---

### ランプが赤く光ったら この冊子をご覧ください

ランプの点灯から問題を把握する方法が記載されています。

また、故障した内蔵ドライブを交換する方法が記載されています(2ドライブモデル)。いざというときに手に取れる場所に保管してください。

はじめに

各部の名前と機能

設置する

初回設定 スマホ

初回設定 Windows

初回設定 macOS

じぶんフォルダアカウント  
を作る

本製品にアクセスする

データを守る

異常への対処

困ったときには

お守りください

アフターサービス

---

レシートや納品書は大切に保管してください。  
修理時に保証期間を確認するために必要です。

---

# もくじ

---

はじめに.....	3	本製品にアクセスする.....	40
本製品の使用目的.....	3	Windowsでアクセスする.....	41
添付品を確認する.....	3	Windowsで外出先からアクセスする.....	42
取扱説明書の構成.....	4	macOSでアクセスする.....	45
交換用ドライブ、対応HDD.....	5	macOSで外出先からアクセスする.....	46
各部の名前と機能.....	6	スマホでアクセスする(自宅/外出先).....	49
1ドライブモデル.....	6	データを守る.....	50
2ドライブモデル.....	7	USB HDDにバックアップする... ..	51
設置する.....	8	ごみ箱機能を使う.....	57
ルーターとつなぐ.....	8	異常への対処.....	60
電源コンセントとつなぐ.....	9	内蔵ドライブの交換方法.....	63
スマホで初回設定をする.....	11	困ったときには.....	67
アプリをインストールする.....	11	お守りください.....	69
初回設定する.....	12	安全のために.....	69
Windowsで初回設定をする.....	17	使用上のご注意.....	73
アプリをインストールする.....	18	アフターサービス.....	75
本製品からの通知を有効にする.. ..	19	お問い合わせについて.....	75
設定画面を開く.....	20	修理について.....	76
初回設定する.....	21	ハードウェア保証規定.....	77
macOSで初回設定をする.....	23		
アプリをインストールする.....	24		
本製品からの通知を有効にする.. ..	25		
設定画面を開く.....	26		
初回設定する.....	27		
じぶんフォルダーアカウントを作る.. ..	29		
じぶんフォルダーアカウントとは30			
ユーザーとは.....	30		
じぶんフォルダーとは.....	30		
じぶんフォルダーアカウントを作る.....	32		

# はじめに

---

本製品に関する情報をご説明します。

## 本製品の使用目的

---

本製品は、ネットワークに設置するネットワークHDD (NAS) です。データファイルを本製品に保存し、ネットワーク上で共有できます。じぶんフォルダー機能で、管理者にお願いすることなく自分だけのデータ保管場所を得ることができます。

※ 本製品は屋外に設置しないでください。

### **本製品はデータ復旧サービスを使えません**

---

本製品はセキュリティ強化のため、全体を暗号化しています。そのため、他社も含めたデータ復旧サービスでのデータ復旧はできません。データの二重化などを心がけ、大事なデータが消えないようにご注意ください。

## 添付品を確認する

---

- ACアダプター
- LANケーブル
- ケーブルフック (1ドライブ版のみ)
- ガイドブック (本書)
- じぶんフォルダーを使おう
- Remote Link 設定シート

## 取扱説明書の構成

---

本製品の取扱説明書には、次のものがあります。

- ガイドブック(本書)：  
本製品の基本的な使い方が説明されています。
- じぶんフォルダーをしよう：  
利用者に本製品を使っていただく  
ときにお渡しく下さい。  
利用者が自分専用の保存スペース  
「じぶんフォルダー」を作って、  
データを保存するための基本的な  
操作方法が説明されています。



- 詳細ガイド：  
本製品を設置した後、より詳細な説明を求める場合は、インターネット  
上の詳細ガイドをご覧ください。  
説明例：バックアップする、ごみ箱機能を使う、設定画面の詳細、困ったと  
きには(FAQ) など

これらの取扱説明書は、下記Webサイトからご覧になれます

---

<https://www.iodata.jp/p/232921>

※ URL はHDL2-TA2のものですが、リンクされて  
いる取扱説明書はHDL-TAシリーズ共通です。



## 交換用ドライブ、対応HDD

---

- 交換用ドライブ(2ドライブモデルのみ)

以下の弊社Webページをご確認ください。

[https://www.iodata.jp/pio/io/nas/landisk/nas\\_hdd.htm](https://www.iodata.jp/pio/io/nas/landisk/nas_hdd.htm)



※ 交換用ドライブには、システムはインストールされていません。

※ 拡張ボリューム(出荷時設定) で使っている場合、容量を後から増やすことができます。詳しくは、詳細ガイドをご覧ください。

(拡張ボリューム以外でお使いの場合、本製品の容量を後から増やせません)

※ 一度使ったことがある交換用ドライブを交換に使わないでください。

古いデータの上書きによって、データ損失のおそれがあります。

- 対応USB HDD

以下の弊社Webページをご確認ください。

<https://www.iodata.jp/pio/io/nas/landisk/hdd.htm>



# 各部の名前と機能

## 1 ドライブモデル

### ▼ 前面



POWERランプ：本製品の状態を示します。(60ページ)

### ▼ 背面



POWERボタン：電源を入/切します。(10ページ)

RESETボタン：5秒押しすと、一部設定を購入時に戻します。

- ・IPアドレス
- ・管理者パスワード
- ・Remote Link3 (リモートアクセスは再設定必要)
- ・メディアサーバーのデータベース(再構築します)

USB 2.0ポート：外付HDDなどをつなぎます。

LANポート：LANケーブルでルーターとつなぎます。

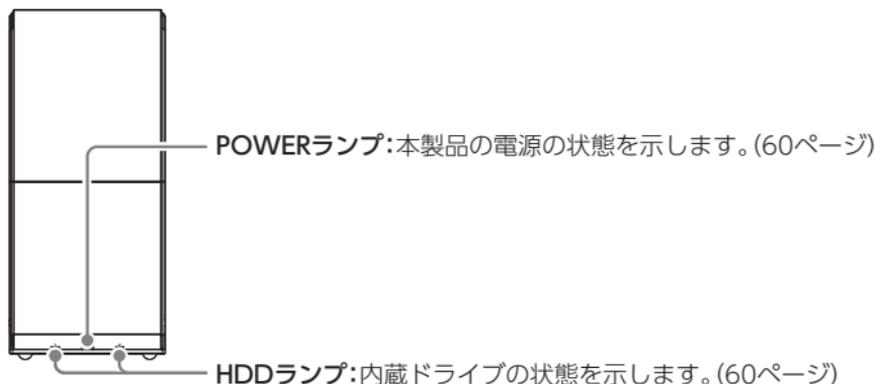
電源コネクタ：添付のACアダプターをつなぎます。

ケーブルフックホール：添付のケーブルフックを取り付けます。

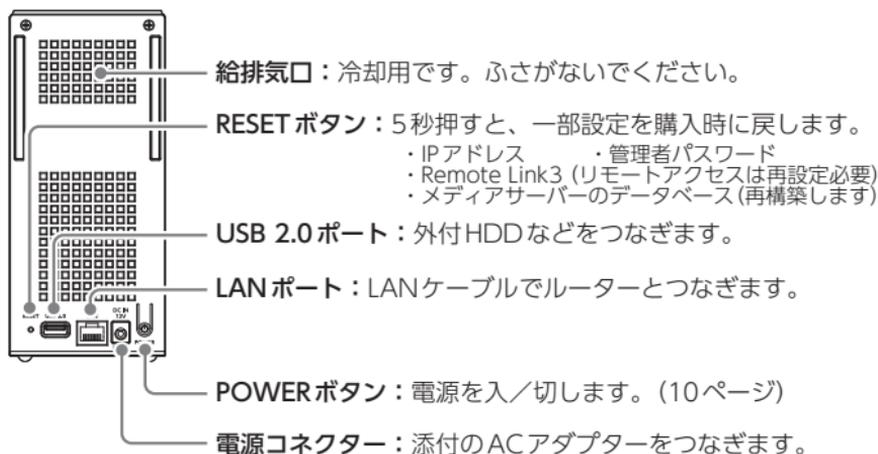
セキュリティスロット：盗難対策にケンジントン製ロックを取り付けられます。

## 2ドライブモデル

### ▼ 前面



### ▼ 背面



# 設置する

---

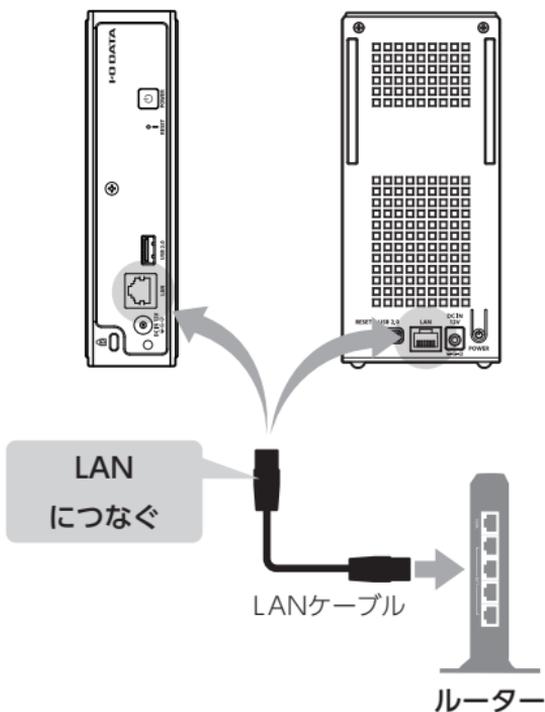
## ルーターとつなぐ

---

「ルーターのLANポート」と「本製品の“LAN”」を添付のLANケーブルでつなぎます。

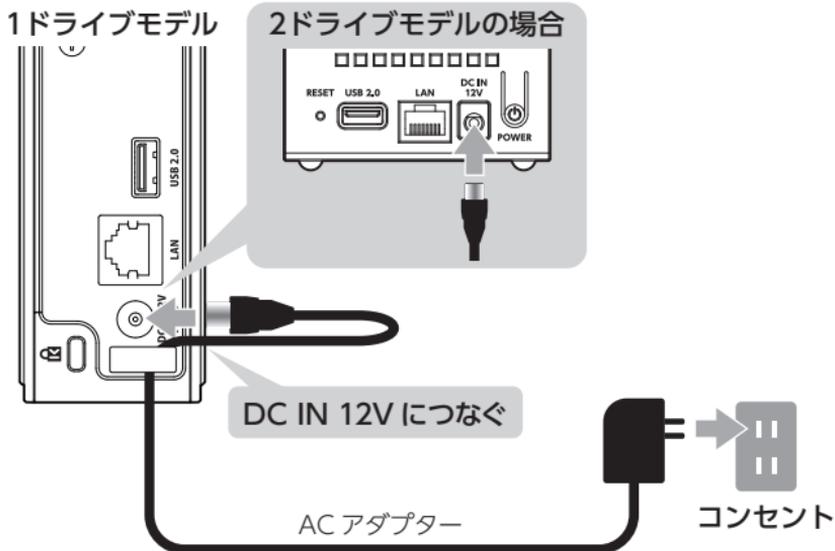
1ドライブモデル

2ドライブモデル



## 電源コンセントとつなぐ

添付のACアダプターを「DC IN 12V」につなぎます。  
それから、ACアダプターを電源コンセントにつなぎます。  
(電源コンセントにつなぐと同時に、電源が入ります。)

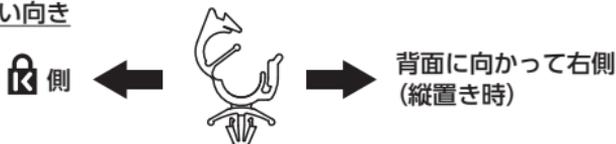


※ケーブルフックは1ドライブモデルだけに添付されています。  
(ケーブルフックホールも1ドライブモデルだけに搭載されています)

### ケーブルフックを使う(1ドライブモデルのみ)

誤ってACアダプターを抜かないように、添付のケーブルフックをお使いください。  
ケーブルフックでACアダプターのコードを挟み込んだ後、「DC IN 12V」の  
左側にある穴にケーブルフックを差し込んで固定してください。  
その際、開く側がセキュリティスロット側を向かないようにしてください。

#### 正しい向き



## POWERランプが赤点灯した場合

【初回起動時、POWERランプが赤点灯した】(67ページ)をご覧ください。

※ 2ドライブモデルは電源が入ってから数秒間すべてのランプが点灯します。

## POWERランプが点滅中にコンセントを抜かないでください

本製品が故障し、起動しなくなる恐れがあります。

ファームウェアの更新がある場合、通常より起動時に時間がかかります。

緑点滅の場合は、そのままお待ちください(約10分)。

POWERランプが緑点灯すれば、本製品が起動しました。

次は、お使いの端末に合わせてご覧ください。

【スマホで初回設定をする】(11ページ)

【Windowsで初回設定をする】(17ページ)

【macOSで初回設定をする】(23ページ)

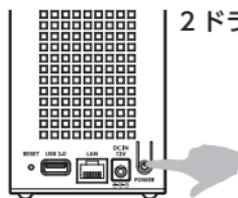
## 次回以降に電源を入れる方法

① 背面のPOWERボタンを押す

1 ドライブモデル



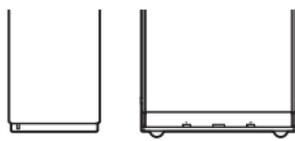
2 ドライブモデル



② POWERランプが点滅する



点灯に変わる



## 電源を切る方法

背面のPOWERボタンを2秒間押し続けます。

⇒ POWERランプが点滅し、消灯したら停止完了です。

※ POWERランプが消える前に、ACアダプターを抜かないでください。

# スマホで初回設定をする

---

はじめに本製品をリモートアクセスできるように設定します。

アプリをインストールする .....	11
ランディスクアクセス用アプリ「Remote Link Files」をインストールします。	
初回設定する .....	12
「Remote Link Files」を設定し、本製品にアクセスできるようにします。	

## アプリをインストールする

---

App StoreやPlayストアから、ランディスクアクセス用アプリ「Remote Link Files」をインストールしてください。

### **Remote Link Filesは本製品からの通知を受け取れます**

---

本製品に何らかの異常が発生した場合や、新しいファームウェアが公開されたことなどを通知いたします。

※ アプリからの通知が表示されるよう、スマホの通知設定を有効にしてください。(バッジ表示はされません)

## 初回設定する

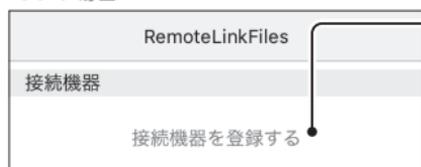
※ 特に記載がない場合、画面例はiOSのものですが。

[Remote Link Files] を設定し、本製品にアクセスできるようにします。

### 1 Remote Link Filesを開く

### 2 ランディスクの登録を開始する

#### ● iOSの場合



[接続機器を登録する] を  
タップする

※ [接続機器を登録する] が  
ない場合、左上の[登録]  
をタップします。

#### ● Androidの場合



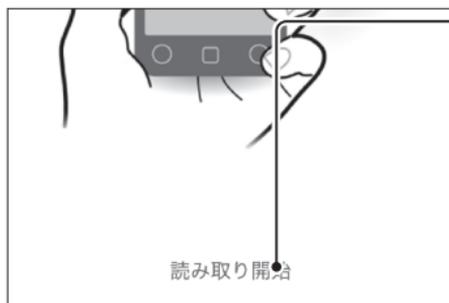
[+] をタップする

### 3



[QRコードで登録] をタッ  
プする

### 4



[読み取り開始] をタッ  
プする

**カメラ（写真の撮影と動画  
の記録）の許可を要求され  
た場合**

QRコードの撮影にカメラを  
使います。許可の操作をして  
ください。

5



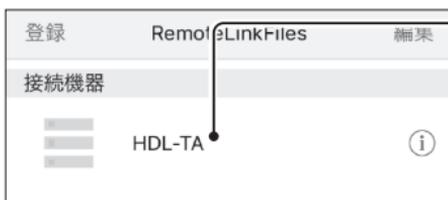
Remote Link 設定シート  
のQRコードを読み取る

6



[OK] をタップする

7



[HDL-TA] をタップする

**「PIN コードが間違っています」と表示された場合**

初回設定済みです。【じぶんフォルダーアカウントを作る】(29ページ)をご覧ください。

8

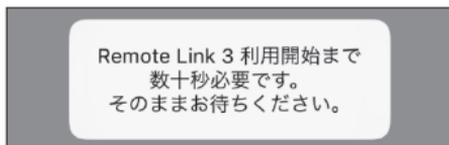


[OK] をタップする

**Remote Link 設定シートは保管しておいてください**

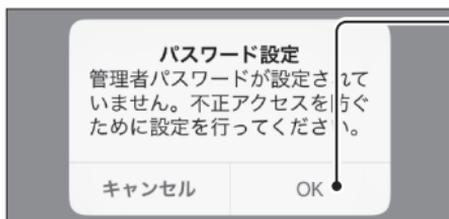
Remote Link 設定シートはこの操作で使えなくなりますが、本製品をリセットした場合に使います。

9



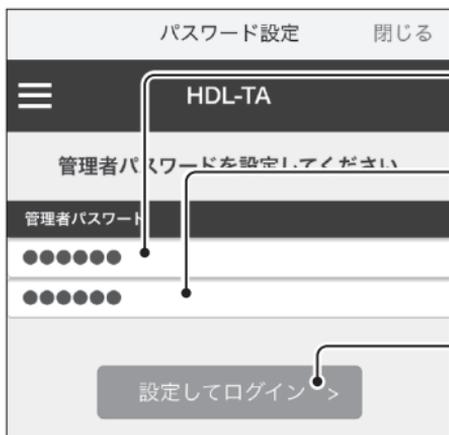
数十秒間お待ちください

10



[OK] をタップする

11

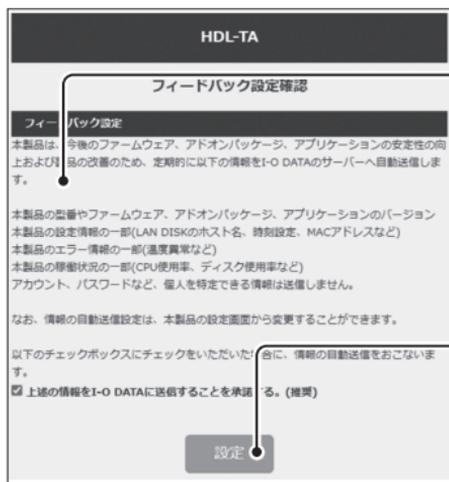


① パスワードを設定する

② 上と同じパスワードを入力する

③ [設定してログイン] をタップする

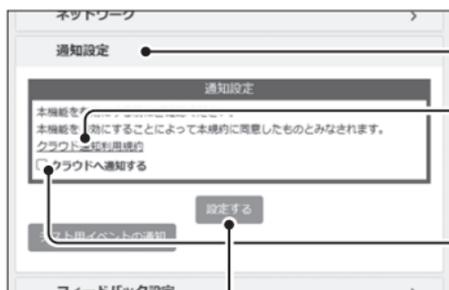
12



① 内容を確認し、設定する

② [設定] をタップする

13



① [通知設定] を開く

② [クラウド通知利用規約] をタップし、規約を確認する

③ [クラウドへ通知する] をチェックする

④ [設定する] をタップする

## 14

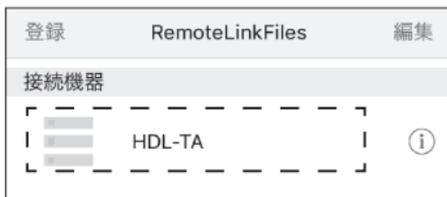


これで、本製品の初回設定は完了です。

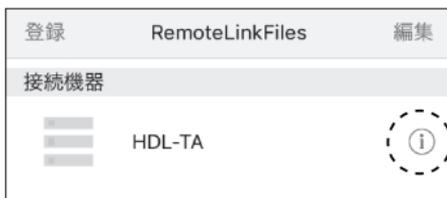
次は、【じぶんフォルダアアカウントを作る】(29ページ)をご覧ください。

### 設定画面を開く方法

- ① Remote Link Files を開く
- ② HDL-TA をタップする



- ③ 最初の画面に戻る
- ④ HDL-TA 横の i または : をタップする



- ⑤ 表示されたメニューの [リモートUI] をタップする

⇒ 設定画面が開きます。

※ Remote Link 3 設定など一部の項目は、この方法で開いた設定画面では設定できません。

ログイン画面で表示された URL をタップし、開いた設定画面からログインして設定してください。

# Windows で初回設定をする

---

はじめに本製品をリモートアクセスできるように設定します。

アプリをインストールする ..... 18

かんたんアクセスアプリ「LAN DISK CONNECT」をインストールします。

本製品からの通知を有効にする ..... 19

「LAN DISK CONNECT」を使って本製品の設定画面を開きます。

設定画面を開く ..... 20

「LAN DISK CONNECT」を使って本製品の設定画面を開きます。

初回設定する ..... 21

はじめて設定画面を開いた時は、管理者のパスワードを設定し、リモートアクセス (Remote Link 3機能) を有効にします。

## アプリをインストールする

かんたんアクセスアプリ[LAN DISK CONNECT]をインストールします。

### 1 LAN DISK CONNECTをダウンロードする

弊社Webページ[サポートライブラリ]からダウンロードする  
<https://www.iodata.jp/r/5160>

#### 本製品からダウンロードすることもできます

- ① エクスプローラーを開き、[ネットワーク]を開く
- ② 記憶域の[landisk-xxxxxx]をダブルクリックする  
※「記憶域」や[landisk-xxxxxx]が表示されない場合は、弊社Webページからダウンロードしてください。  
※「デバイスドライバソフトウェアをインストールしています」と表示された場合は、再度アイコンをダブルクリックしてください。
- ③ [セットアップスタート]をクリックする

### 2 LAN DISK CONNECTをインストールする

ダウンロードしたファイルを開き、フォルダー内のインストーラーをダブルクリックする  
⇒ インストールが終わると、「LAN DISK」が開かれます。

#### ユーザーアカウント制御が表示されたら



[はい] をクリックする

#### 「Office アドインをインストールしますか？」と表示されたら

Microsoft Office 2013以降がインストールされていれば、[はい] をクリックしてください。

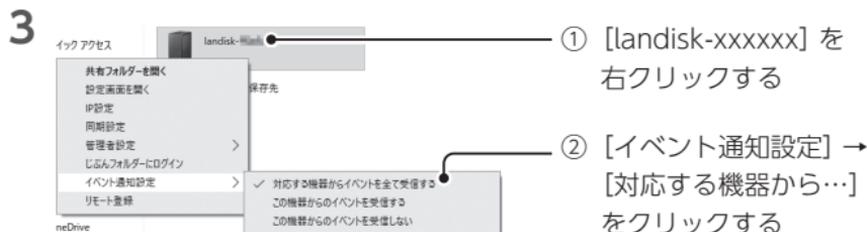
Officeの保存場所として「LAN DISK」を追加します。

## LAN DISK CONNECTは本製品からの通知を受け取れます

本製品に何らかの異常が発生した場合や、新しいファームウェアが公開されたことなどを通知いたします。

## 本製品からの通知を有効にする

### 1 デスクトップの[LAN DISK] をダブルクリックする



### [landisk-xxxxxx] が表示されない場合

本製品のPOWERランプが緑点滅していないかご確認の上、緑点滅している場合は点灯に変わるまでお待ちください。

また、[ローカル] を右クリックし、表示された[機器リストを更新] をクリックしてください。

## 設定画面を開く

---

### 1 デスクトップの[LAN DISK] をダブルクリックする

2



① [LAN DISK] → [ローカル] をクリックする

② [landisk-xxxxxx] を右クリックする

③ [設定画面を開く] をクリックする  
⇒ 設定画面が開きます

### 次回以降に設定画面を開く

---

Webブラウザでお気に入り(ブックマーク)に登録することをおすすめします。

## 初回設定する

はじめて設定画面を開いた時は、管理者のパスワードを設定し、リモートアクセス (Remote Link 3機能) を有効にします。

### 管理者とは

本製品に関する色々な設定ができるユーザー (admin) です。  
(設定画面を開くには、管理者パスワードが必要です)

1

- ① 管理者パスワードを設定する
- ② 上と同じパスワードを入力する
- ③ [設定してログイン] をクリックする

2

- ① 内容を確認し、設定する
- ② [設定] をタップする

## ■Windowsで初回設定をする ～ 初回設定する

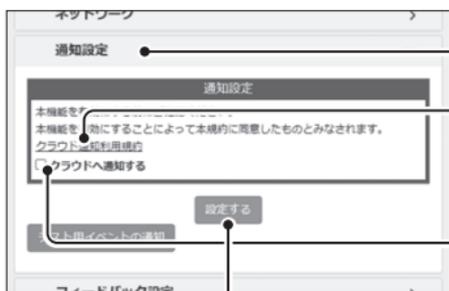
3



① [Remote Link 3 設定] を開く

② [利用を開始する] をクリックする  
⇒ [利用開始しました] と表示されるまでお待ちください。

4



① [通知設定] を開く

② [クラウド通知利用規約] をタップし、規約を確認する

③ [クラウドへ通知する] をチェックする

④ [設定する] をタップする

5



[ログアウト] をクリックする

これで、本製品の初回設定は完了です。

次は、【じぶんフォルダーアカウントを作る】(29ページ)をご覧ください。

# macOS で初回設定をする

---

はじめに本製品をリモートアクセスできるように設定します。

アプリをインストールする ..... 24

かんたんアクセスアプリ「LAN DISK CONNECT」をインストールします。

本製品からの通知を有効にする ..... 25

「LAN DISK CONNECT」を使って本製品の設定画面を開きます。

設定画面を開く ..... 26

「LAN DISK CONNECT」を使って本製品の設定画面を開きます。

初回設定する ..... 27

はじめて設定画面を開いた時は、管理者のパスワードを設定し、リモートアクセス (Remote Link 3 機能) を有効にします。

## アプリをインストールする

---

かんたんアクセスアプリ「LAN DISK CONNECT」をインストールします。

### 1 LAN DISK CONNECTをダウンロードする

弊社Webページ「サポートライブラリ」からダウンロードする

<https://www.iodata.jp/r/5160>

### 2 LAN DISK CONNECTをインストールする

ダウンロードしたファイルを開き、フォルダー内のインストーラーからインストールする

#### **LAN DISK CONNECTは本製品からの通知を受け取れます**

---

本製品に何らかの異常が発生した場合や、新しいファームウェアが公開されたことなどを通知いたします。

## 本製品からの通知を有効にする

---

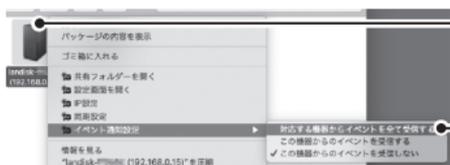
### 1 Finder を開く

### 2



[LAN DISK] をクリックする

### 3



① [landisk-xxxxxx] を右クリックする

② [イベント通知設定] → [対応する機器から...] をクリックする

### [landisk-xxxxxx] が表示されない場合

---

本製品の POWER ランプが緑点滅していないかご確認の上、緑点滅している場合は点灯に変わるまでお待ちください。

また、[LAN DISK] の一覧内を右クリックし、表示された [機器リストの更新] をクリックしてください。

## 設定画面を開く

---

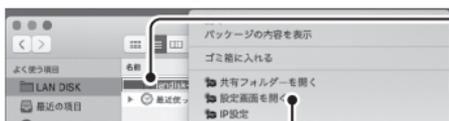
### 1 Finderを開く

### 2



2 [LAN DISK] をクリックする

### 3



3 [landisk-xxxxxx] を右クリックする

4 [設定画面を開く] をクリックする  
⇒ 設定画面が開きます

### 次回以降に設定画面を開く

---

Webブラウザでお気に入り(ブックマーク)に登録することをおすすめします。

## 初回設定する

はじめて設定画面を開いた時は、管理者のパスワードを設定し、リモートアクセス(Remote Link 3機能)を有効にします。

### 管理者とは

本製品に関する色々な設定ができるユーザー (admin) です。  
(設定画面を開くには、管理者パスワードが必要です)

1

① 管理者パスワードを設定する

② 上と同じパスワードを入力する

③ [設定してログイン] をクリックする

2

① 内容を確認し、設定する

② [設定] をタップする

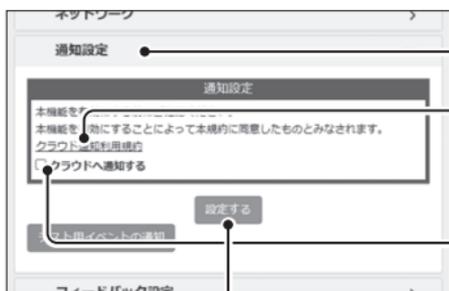
3



① [Remote Link 3 設定] を開く

② [利用を開始する] をクリックする  
⇒ [利用開始しました] と表示されるまでお待ちください。

4



① [通知設定] を開く

② [クラウド通知利用規約] をタップし、規約を確認する

③ [クラウドへ通知する] をチェックする

④ [設定する] をタップする

5



[ログアウト] をクリックする

これで、本製品の初回設定は完了です。

次は、【じぶんフォルダアカウントを作る】(29ページ)をご覧ください。

# じぶんフォルダーアカウントを作る

---

本製品を利用するために、アカウントを作ります。

## 初回設定が必要です

管理者は、初回設定(11、17、23ページ)を済ませてください。

じぶんフォルダーアカウントとは.....	30
ユーザーとは.....	30
じぶんフォルダーとは.....	30
じぶんフォルダーアカウントを作る.....	32

## じぶんフォルダーアカウントとは

---

本製品を利用するためのアカウントです。

じぶんフォルダーアカウントを作ると、ユーザー（とそのパスワード）、じぶんフォルダーが与えられます。

## ユーザーとは

---

本製品を利用するための名前です。

本製品内のデータにアクセスする際に使います。

## じぶんフォルダーとは

---

「じぶんフォルダー」とは、自分専用の共有フォルダーです。

自分だけが開くことができる「じぶんフォルダー」に、安心してデータを保存できます。

### 共有フォルダーとは？

---

本製品内にデータを保存するための場所です。

パソコンと同じようにファイルやフォルダーを置くことができます。

本製品には、誰もがアクセスできてデータのやり取りに便利な「disk1」などの共有フォルダーが最初から用意されています。

## ▼「disk1」共有フォルダーとじぶんフォルダーの違い

「disk1」共有フォルダーは家族みんなでデータを共有するのに使います。じぶんフォルダーは自分だけのデータを置いておくのに利用します。

項目	disk1	じぶんフォルダー
アクセスできる人	誰でも <sup>※1</sup>	自分だけ <sup>※2</sup>
バックアップ機能 <sup>※3</sup>	対象	対象外
メディアサーバー機能 <sup>※4</sup>	対象	対象外

※1. ご購入時の設定です。

※2. 管理者でも開くことはできません。

※3. USB HDDをつないでバックアップすることをおすすめしています。(51ページ)

※4. DLNA対応テレビなどで保存した写真や動画を楽しめる機能です。

詳しくは、詳細ガイドをご覧ください。



### 大切なデータを守るために

大事なデータはじぶんフォルダー以外にも保存し、二重化を心がけてください。

(プライバシー保護のため、じぶんフォルダーは本製品のバックアップ機能の対象外です)

### バックアップできる専用フォルダーを作る

管理者は共有フォルダーを作り、そこを一部のユーザーだけがアクセスできる場所にすることができます。

共有フォルダーはバックアップ機能の対象となります。

項目	共有フォルダー	じぶんフォルダー
アクセスできる人	管理者が設定	自分だけ
バックアップ機能	対象	対象外
メディアサーバー機能	対象	対象外

詳しくは、詳細ガイドをご覧ください。



## じぶんフォルダーアカウントを作る

---

- ▶ スマホで作る ..... 32
- ▶ Windowsで作る ..... 36
- ▶ macOSで作る ..... 37

### ▼ スマホで作る

#### 利用者(家族など)に説明する場合

---

添付の『じぶんフォルダーをしよう』をお使いください。

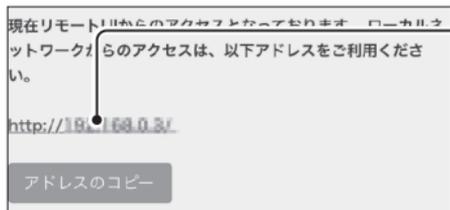
また管理者が設定画面を開き（16、20、26ページ）、表示された設定画面のURLを、メールなどでユーザーへご連絡ください。

※ 管理者がスマホをお使いの場合、本ページ手順2の画像にある[アドレスのコピー]をタップすると設定画面のURLをコピーできます。

### 1 設定画面を開く(16ページ)

※ ログインはしないでください。

### 2



表示されたURLをタップする

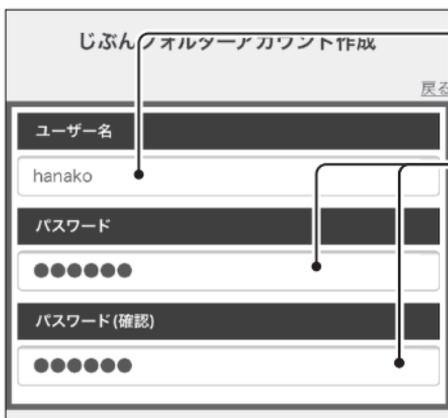
⇒ ローカルネットワークの設定画面に切り替わります。切り替えに成功するとURLの表示が消えます。

3



[じぶんフォルダーアカウント作成] をタップする

4



① ユーザー名を設定する

② パスワードを2回入力して設定する

**絶対に忘れない**

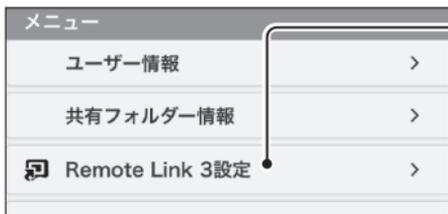
ユーザー名とパスワードを忘れてしまうと、じぶんフォルダー内のデータを二度と取り出せません。

5



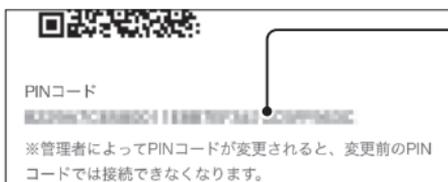
[作成する] をタップする  
⇒ じぶんフォルダーアカウントを作りました。

6



[Remote Link 3 設定] をタップして開く

7



QRの下にあるPINコード部分をしばらくタップし、PINコードをコピーする  
※ この後の設定で使います。

8



☰ をタップする

9



[ログアウト] をタップする

## 10 Remote Link Filesを開く

### Remote Link Filesがない場合

App StoreやPlayストアから「Remote Link Files」をインストールしてください。

## 11 登録を開始する

### ● iOSの場合



[接続機器を登録する] をタップする

### ● Androidの場合



[登録] をタップする

## 12



【手動で登録】をタップする

## 13

③ 【表示名】に[HDL-TA]と入力する

④ 手順7でコピーしたPINコードを貼り付ける

⑤ 自分のユーザー名とパスワードを入力する

## 14 登録する

- iOSの場合



【接続機器を登録する】をタップする

- Androidの場合



【登録】をタップする

これでじぶんフォルダーアカウントを作り、本製品にアクセスする準備ができました。

次は、【本製品にアクセスする】(40ページ)をご覧ください。

## ▼ Windowsで作る

### 利用者(家族など)に説明する場合

ここを利用者に見せてご説明ください。

## 1 デスクトップの[LAN DISK]をダブルクリックする

### LAN DISK CONNECTがない場合

【アプリをインストールする】(18ページ)をご覧ください。

2

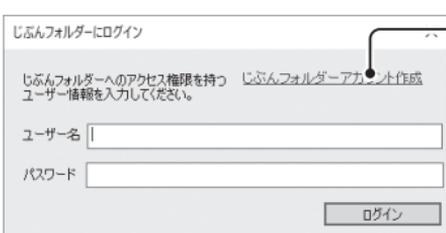


① [LAN DISK] → [ローカル] をクリックする

② [landisk-xxxxxx] を右クリックする

③ [じぶんフォルダーにログイン] をクリックする

3



【じぶんフォルダーアカウント作成】をクリックする

## 4

① ユーザー名を設定する

② パスワードを2回入力して設定する

③ [作成してログイン] をクリックする

### ユーザー名とパスワードを絶対に忘れない

ユーザー名とパスワードを忘れてしまうと、じぶんフォルダー内のデータを二度と取り出せません。

これでじぶんフォルダーアカウントを作り、本製品にアクセスする準備ができました。

次は、【本製品にアクセスする】(40ページ)をご覧ください。

## ▼ macOSで作る

### 利用者(家族など)に説明する場合

ここを利用者に見せてご説明ください。

## 1 Finderを開く

### LAN DISK CONNECTがない場合

【アプリをインストールする】(24ページ)をご覧ください。

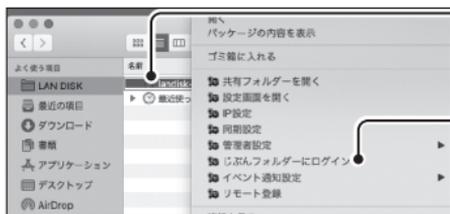
## ■じぶんフォルダーアカウントを作る ～ じぶんフォルダーアカウントを作る

2



[LAN DISK] をクリックする

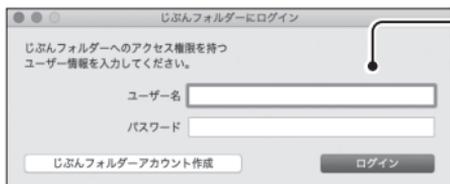
3



① [landisk-xxxxxx] を右クリックする

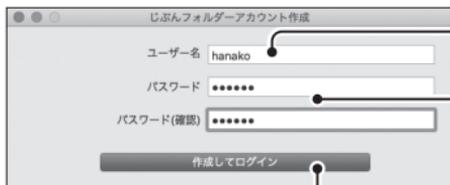
② [じぶんフォルダーにログイン] をクリックする

4



[じぶんフォルダーアカウント作成] をクリックする

5



① ユーザー名を設定する

② パスワードを2回入力して設定する

③ [作成してログイン] をクリックする

### ユーザー名とパスワードを絶対に忘れない

ユーザー名とパスワードを忘れてしまうと、じぶんフォルダー内のデータを二度と取り出せません。

6



[OK] をクリックする

これでじぶんフォルダーアカウントを作り、本製品にアクセスする準備ができました。

次は、【本製品にアクセスする】(40ページ)をご覧ください。

# 本製品にアクセスする

---

Windows でアクセスする .....	41
Windows で外出先からアクセスする .....	42
macOS でアクセスする .....	45
macOS で外出先からアクセスする .....	46
スマホでアクセスする (自宅/外出先) .....	49

## 作成済みの共有フォルダー「disk1」

---

誰もがアクセスでき、データのやり取りをするのに便利です。

また、DLNA 対応機器にコンテンツを配信する「メディアサーバー機能」の対象になっています。

※他にも「LAN DISK Log」や「usb1」がご購入時に設定されています。

これらには通常アクセスできません。詳細ガイドをご覧ください。

## ファイルの削除について

---

共有フォルダー上でファイルを削除すると、ごみ箱に入らずに消えます。

※ごみ箱機能を使うと、削除したファイルを保管できます。(57ページ)

## 他の端末でも本製品にアクセスしたい

---

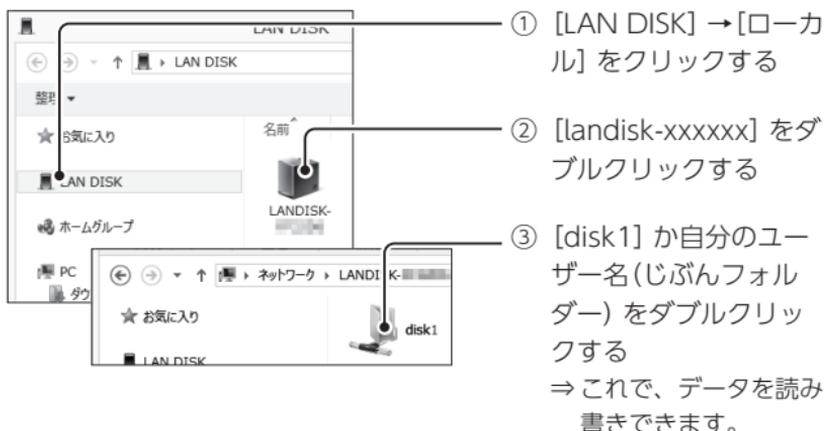
機種変更した場合やパソコンとスマホでアクセスしたい場合などは、【複数  
の端末でアクセスしたい(機種変更)】(67ページ)をご覧ください。

## Windowsでアクセスする

---

### 1 デスクトップの[LAN DISK] をダブルクリックする

### 2



### [landisk-xxxxxx] が表示されない場合

---

本製品のPOWERランプが緑点滅していないかご確認の上、緑点滅している場合は点灯になるまでお待ちください。

また、[ローカル] を右クリックし、表示された [機器リストを更新] をクリックしてください。

### ユーザー名とパスワードを聞かれた場合

---

自分にアクセスする権限がないフォルダーです。[キャンセル] をクリックしてください。

## Windowsで外出先からアクセスする

外出先から本製品へアクセスできるようにします。

### ▼ リモートアクセス用に登録する

自宅内でリモートアクセスのための操作が必要です。

#### 自宅の外からリモート登録する方法

本製品の設定画面でPINコードを用意すれば、自宅の外からリモート登録することができます。  
詳しい方法については、詳細ガイドをご覧ください。



### 1 デスクトップの[LAN DISK] をダブルクリックする

2

① [LAN DISK] → [ローカル] をクリックする

② [landisk-xxxxxx] を右クリックする

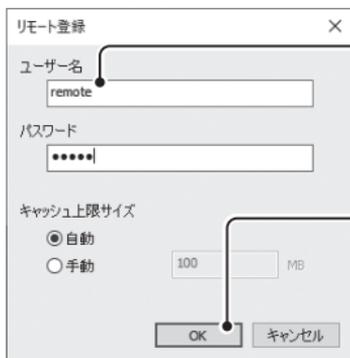
③ [リモート登録] をクリックする

#### [landisk-xxxxxx] が表示されない場合

本製品のPOWERランプが緑点滅していないかご確認の上、緑点滅している場合は点灯になるまでお待ちください。

また、[ローカル] を右クリックし、表示された[機器リストを更新] をクリックしてください。

3



① ユーザー名とパスワードを入力する

② [OK] をクリックする  
⇒本製品が[リモート]に登録されます。

## ▼ 外出先からアクセスする

1

デスクトップの[LAN DISK] をダブルクリックする

2



① [LAN DISK] → [リモート] をクリックする

② [landisk-xxxxxx] をダブルクリックする

③ [disk1] か自分のユーザー名(じぶんフォルダー) をダブルクリックする

### 3 データを扱う

- ファイルを開く:ダブルクリックするとファイルをキャッシュ (ダウンロード) します。完了すると、ファイルが開きます。
- ファイルを変更・保存する:ファイルを変更・保存すると、しばらく後にファイルを本製品へアップロードします。

#### ファイルの状態とアイコン

---

ファイルはその状態に応じて、アイコンにマークが表示されます。

 : 未キャッシュ

 : 通信中

 : キャッシュ済み

 : キャッシュに失敗 (通信状況をご確認ください)

## macOSでアクセスする

### 1 Finderを開く

### 2



① [LAN DISK] をクリックする

② [landisk-xxxxxx] をダブルクリックする

### [landisk-xxxxxx] が表示されない場合

本製品のPOWERランプが緑点滅していないかご確認の上、緑点滅している場合は点灯に変わるまでお待ちください。

また、[LAN DISK] の一覧内を右クリックし、表示された [機器リストの更新] をクリックしてください。

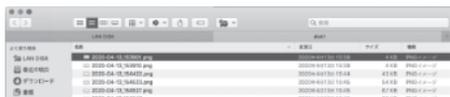
### 3



① [disk1] か自分のユーザー名(じぶんフォルダー)を選ぶ

② [OK] をクリックする

### 4



これで、データを読み書きできます。

## macOS で外出先からアクセスする

外出先から本製品へアクセスできるようにします。

### ▼ リモートアクセス用に登録する

自宅内でリモートアクセスのための操作が必要です。

#### 自宅の外からリモート登録する方法

本製品の設定画面でPINコードを用意すれば、自宅の外からリモート登録することができます。  
詳しい方法については、詳細ガイドをご覧ください。



#### 1 Finder を開く

2



[LAN DISK] をクリックする

3



③ [landisk-xxxxxx] を  
右クリックする

④ [リモート登録] を  
クリックする

#### [landisk-xxxxxx] が表示されない場合

本製品の POWER ランプが緑点滅していないかご確認の上、緑点滅している場合は点灯になるまでお待ちください。

また、[LAN DISK] の一覧内を右クリックし、表示された [機器リストの更新] をクリックしてください。

4



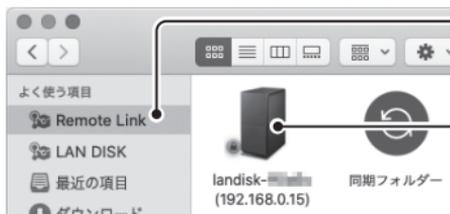
① ユーザー名とパスワードを入力する

② [OK] をクリックする  
⇒ 本製品が [Remote Link] に登録されます。

## ▼ 外出先からアクセスする

1 Finderを開く

2



① [Remote Link] をクリックする

② [landisk-xxxxxx] をダブルクリックする

3



[disk1] か自分のユーザー名(じぶんフォルダー)をダブルクリックする

## 4 データを扱う

- ファイルを開く:ダブルクリックするとファイルをキャッシュ (ダウンロード) します。完了すると、ファイルが開きます。
- ファイルを変更・保存する:ファイルを変更・保存すると、しばらく後にファイルを本製品へアップロードします。

### ファイルの状態とアイコン

---

ファイルはその状態に応じて、アイコンにマークが表示されます。

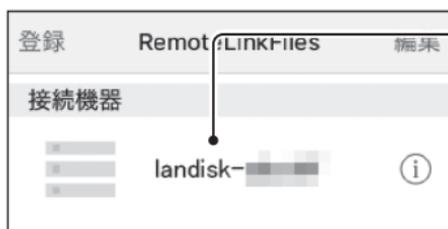
-  : 未キャッシュ
-  : 通信中
-  : キャッシュ済み
-  : キャッシュに失敗 (通信状況をご確認ください)

## スマホでアクセスする(自宅/外出先)

自宅/外出先のどちらでも、以下のようにアクセスします。

### 1 Remote Link Filesを開く

2



【HDL-TA】をタップする

### アクセスできない場合

【Remote Link Filesでログインできない】(68ページ)をご覧ください。

3



[disk1]か自分のユーザー名(じぶんフォルダー)をタップして開く  
⇒これで、データを読み書きできます。

## Remote Link Filesでデータを保存する方法

Remote Link Filesのヘルプをご覧ください。

(iOS版)



(Android版)



# データを守る

---

USB HDDにバックアップする..... 51  
別売のUSB HDDを本製品に増設し、履歴差分バックアップします。

ごみ箱機能を使う ..... 57  
ごみ箱機能を使うと、ファイルを削除してもすぐにファイルが  
なくなり、いったん[trashbox] フォルダーに保管されます。

---

## じぶんフォルダーは本章の機能に対応していません

じぶんフォルダーは、バックアップおよびごみ箱機能に対応していません。

大事なデータはじぶんフォルダー以外にも保存し、二重化を心がけてください。

---

## 本製品はデータ復旧サービスを使えません

本製品はセキュリティ強化のため、全体を暗号化しています。

そのため、他社も含めたデータ復旧サービスでのデータ復旧はできません。データの二重化などを心がけ、大事なデータが消えないようにご注意ください。

## USB HDDにバックアップする

同じデータを2か所に保存することで、万一の故障や人為的なミスなどで、一方のデータが失われても、残った方のデータを使えます。

不測の事態に備えるために、バックアップしておくことをおすすめします。

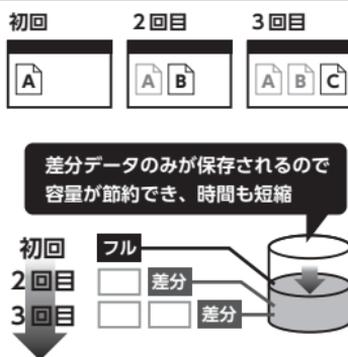
ここでは、別売のUSB HDDを本製品に増設し、履歴差分バックアップします。

### 履歴差分バックアップとは

バックアップした時点でのファイルやフォルダーの構造が日付ごとに丸ごと残ります。

ファイルを間違えて消したり更新してしまった場合に、日付を指定して復元することができます。

それぞれのバックアップで実際に使う容量は、前回バックアップの差分だけなので、毎回全てをバックアップするのに比べて少なくなります。



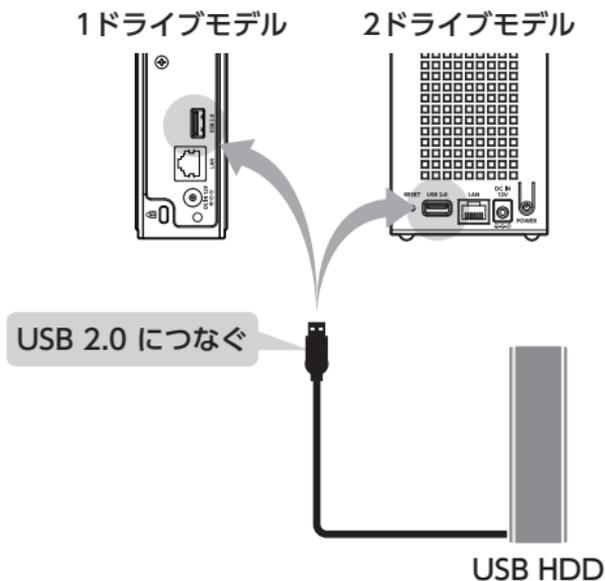
### じぶんフォルダーはバックアップ機能に対応していません

大事なデータはじぶんフォルダー以外にも保存し、二重化を心がけてください。

- ▶ USB HDDをつなぐ.....52
- ▶ 専用フォーマットする.....53
- ▶ バックアップの設定をする.....54

## ▼ USB HDDをつなぐ

※ USB HDDは専用形式でフォーマットします。内部のデータはすべて削除されます。



### 対応USB HDD

以下の弊社Webページをご確認ください。

<https://www.iodata.jp/pio/io/nas/landisk/hdd.htm>



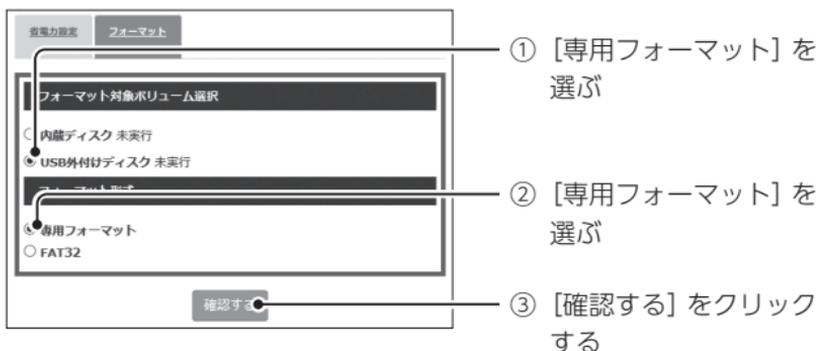
## ▼専用フォーマットする

### 1 設定画面を開く

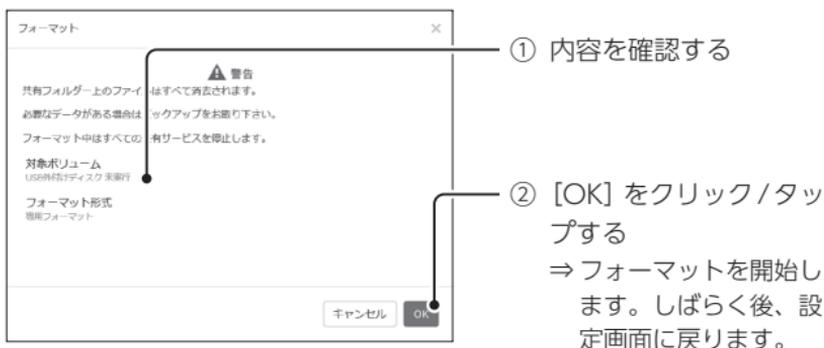
- パソコンでの開き方..... 【設定画面を開く】(20ページ)
- スマホでの開き方..... 【設定画面を開く方法】(16ページ)

### 2 [ディスク] → [フォーマット] を開く

### 3



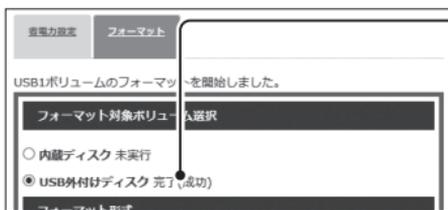
### 4



**フォーマットの開始/終了時は、共有へアクセスできません**

本製品へのアクセスがないことを確認してから実行してください。

5



USB外付けディスクの右が「完了(成功)」となったらフォーマット完了です。

※ 表示が変わらない場合は、別の項目を開いた後、再度[ディスク] → [フォーマット] を開いてみてください。

## ▼バックアップの設定をする

ここでは、「disk1」共有フォルダーをUSB HDDへバックアップする設定例をご案内します。

### 1 設定画面を開く

- パソコンでの開き方..... 【設定画面を開く】(20ページ)
- スマホでの開き方..... 【設定画面を開く方法】(16ページ)

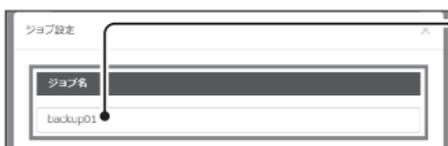
### 2 [バックアップ] を開く

3



[新しいジョブの作成] をクリック/タップする

4



「ジョブ名」を任意に入力する

- 5  「履歴数」を設定する  
※ この回数分のバックアップを保持します。

- 6  ① 「スケジュール実行する」を有効にする  
② バックアップする曜日と時刻を設定する

### オプションについて

詳しくは詳細ガイドをご覧ください。



- 7  「バックアップ先」の「共有フォルダ」に[disk1]と入力する

### ユーザー名とパスワードの入力は、この手順では不要です

他のNASなどを対象とする場合に入力します。

- 8  「バックアップ先」の「共有フォルダ」に[usb1]と入力する

- 9  [OK] をクリック/タップする  
⇒ 今後、設定したスケジュールでバックアップを開始します。

### バックアップが成功したかどうかの確認方法

---

[バックアップ] を開き、ジョブ名の右をご覧ください。  
「完了(成功)」となっていれば、成功しています。

## ごみ箱機能を使う

本製品上のファイルを削除すると、OSのごみ箱などに入らずにそのまま消えてしまいます。

ごみ箱機能を使うと、ファイルを削除してもすぐにファイルがなくなり、いったん [trashbox] フォルダーに保管されます。

### ご注意

- Windows ファイル共有 (SMB) で削除した場合にだけ [trashbox] フォルダーに保管されます。Remote Link Filesなどで削除した場合は保管されずに削除されます。
- [trashbox] フォルダー内のファイルは、自動的に消去されません。定期的に [trashbox] フォルダー内のファイルを削除してください。
- ご利用のアプリケーションによっては、その動作中にファイル作成 → 削除を繰り返すものがあります。結果、[trashbox] フォルダー内のファイルが大幅に増えることがあります。
- ごみ箱機能を無効にした場合には、[trashbox] フォルダーは削除され、[trashbox] 内のファイルは完全に消去されます。

### じぶんフォルダーはごみ箱機能に対応していません

大事なデータはじぶんフォルダー以外にも保存し、二重化を心がけてください。

- ▶ ごみ箱機能を有効にする ..... 58
- ▶ ごみ箱からファイルを取り戻す ..... 59

## ▼ ごみ箱機能を有効にする

手順例では、共有フォルダー「disk1」のごみ箱機能を有効にします。

### 1 設定画面を開く

- パソコンでの開き方..... 【設定画面を開く】(20ページ)
- スマホでの開き方..... 【設定画面を開く方法】(16ページ)

### 2 [共有] → [共有フォルダー設定] を開く

3



disk1の[変更] をクリックする

※ disk1 は、ご購入時に設定済みの通常使用のための共有フォルダーです。

4



ごみ箱機能を[有効] に設定する

5



[OK] をクリック/タップする

⇒ disk1のごみ箱機能が有効になりました。

## ▼ ごみ箱からファイルを取り戻す

[trashbox] フォルダからファイルを取り戻します。

- 1 本製品にアクセスする(41 ページ)
- 2 disk1 などの共有フォルダの中の[trashbox] フォルダを開く  
⇒ 削除したファイルが表示されます。
- 3 必要なファイルを元の共有フォルダに移動(またはコピー) する

# 異常への対処

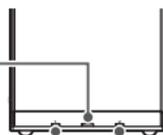
ランプの状況を組み合わせて、状態と対処を確認します。  
まずはPOWERランプを確認し、その状況から絞り込んでいきます。

- ▶ POWERランプは消灯している.....60
- ▶ POWERランプは緑点滅している.....61
- ▶ POWERランプは緑点灯している.....61
- ▶ POWERランプは赤点灯している.....61
- ▶ POWERランプは赤点滅している.....62

1ドライブモデル



2ドライブモデル



## アクセス用アプリから異常が通知されます

異常が起きると、アクセス用アプリの「Remote Link Files」と「LAN DISK CONNECT」から通知されます。

異常の通知が来たら、本製品のランプをご確認ください。

また、設定画面を開き（16、20、26ページ）、画面の「お知らせ」をご確認ください。

## ▼ POWERランプは消灯している

本製品の電源が入っていません。

ACアダプターを確認の上、本製品を起動してください（10ページ）。

## ▼ POWERランプは緑点滅している

起動中やシャットダウン中、システム処理中（設定反映中、ファームウェア更新中など）です。

点灯（シャットダウンの場合は消灯）するまでお待ちください。

## ▼ POWERランプは緑点灯している

正常に動作しています。

## ▼ POWERランプは赤点灯している

### ● 初回起動時

- ① POWER ボタンを2秒間押し、本製品の電源を切ります。
- ② LAN ケーブルを抜き、再度挿し直します。
- ③ POWER ボタンを押し、電源を入れます。
- ④ 上記をしても改善しない場合、右のQRからサポートページをご覧ください。



### ● 起動時

- ① POWER ボタンを2秒間押し、本製品の電源を切ります。
- ② LAN ケーブルを抜き、再度挿し直します。
- ③ POWER ボタンを押し、電源を入れます。

### ● USB HDDへバックアップ時

- バックアップ先のUSB HDDの容量が足りないことが考えられます。共有フォルダー「usb1」を開き、不要なファイルを削除してください。
- バックアップ先のUSB HDDに問題が発生していることが考えられます。USB HDDが正しくつながっているかご確認ください。正しくつながっている場合、USB HDDの故障のおそれがあります。また、はじめにUSB HDDを本製品でフォーマットしてください。

## ▼ POWERランプは赤点滅している

重大なエラーが発生しています。

設定画面からお知らせを確認いただくか、LAN DISK CONNECT、Remote Link Files の通知内容をご確認ください。

データにアクセスできる場合は、万が一のためにデータのバックアップをお取りください。

- 2ドライブモデルの場合  
HDDランプは以下の状態を示しています。

HDDランプ	状態
消灯	該当HDDは正常状態です。
赤点灯	該当HDDは未接続です。 <sup>*</sup>
赤点滅	該当HDDは故障しています。 (HDD2の場合、本製品起動時に未接続状態だと赤点滅します)

※ RAID 0/1 に切り替えている場合、RAID 崩壊も考えられます。  
RAID 崩壊については詳細ガイドをご確認ください。



- 本製品が起動しない場合  
本製品内蔵ディスクに問題が発生していることが考えられます。  
USB HDD を取り外した後、本製品の電源を切り、また電源を入れてください。起動完了後にもPOWERランプが赤点滅する場合は、サポートセンター（75ページ）にお問い合わせください。

## 内蔵ドライブの交換方法

※ 2ドライブモデルのみ

### 交換用ドライブ

以下の弊社Webページをご確認ください。

[https://www.iodata.jp/pio/io/nas/landisk/nas\\_hdd.htm](https://www.iodata.jp/pio/io/nas/landisk/nas_hdd.htm)

※ 交換用ドライブ以外をご利用の場合はサポート対象外となります。



### 交換方法動画

以下の弊社Webページをご確認ください。

<https://www.iodata.jp/product/nas/personal/hdl2-ta/>



### 内蔵ドライブ交換時のご注意

- 内蔵ドライブは、故障時以外には取り外さないでください。  
不用意に取り外すと冗長性が失われたり、すべてのデータを失う危険があります。  
拡張ボリュームで容量を増やす方法は、詳細ガイドをご覧ください。
- 内蔵ドライブの交換は、必ず説明通りに1台ずつしてください。
- 金具などで手を切るなどのケガをしないようにご注意ください。
- 一度使ったことがある交換用ドライブを交換に使わないでください。  
残ったデータを上書きされてしまい、データ損失のおそれがあります。
- データにアクセスできる場合、交換前にデータのバックアップを取ってください。

## 1 設定画面を開き、交換する内蔵ドライブを確認する

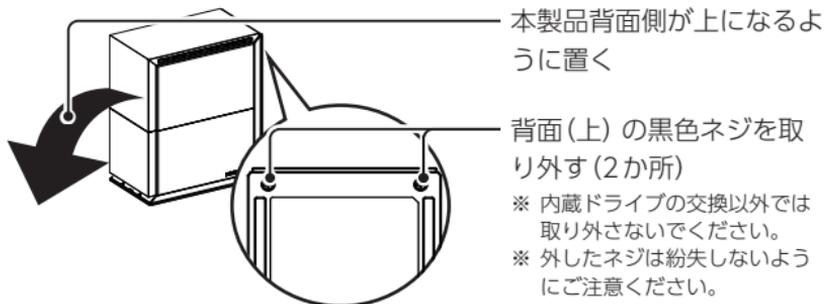
設定画面を開き(16、20、26ページ)、画面の「お知らせ」をご確認ください。

## 2 本製品の電源を切り、十分に冷めるまで待つ

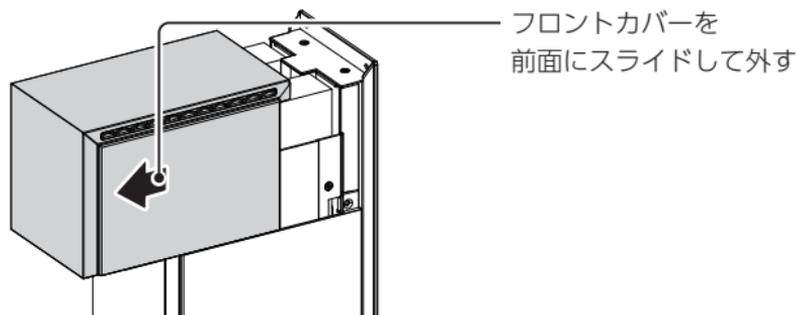
安全のため、ACアダプターとLANケーブルを取り外します。

※【電源を切る方法】(10ページ)

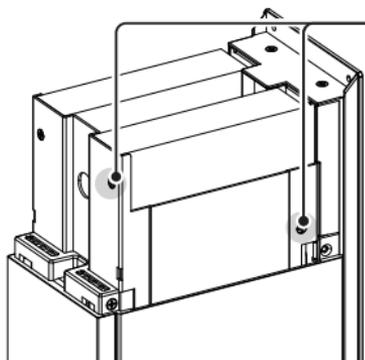
## 3



## 4



5



交換する内蔵ドライブの前面と側面の銀色ネジを外す(2か所)

※ 外したネジは紛失しないようにご注意ください。

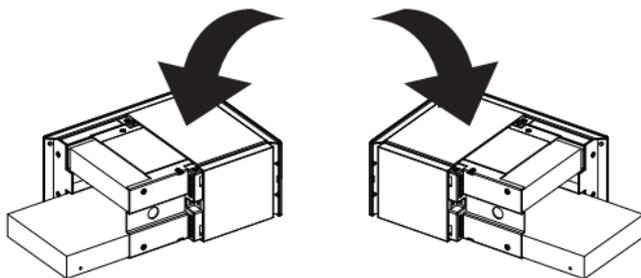
**両側のネジを外さない**

交換する内蔵ドライブのネジだけを外してください。両側のネジを外して本製品を倒すと本製品が破損します。

6

交換する内蔵ドライブが下になるように置き、内蔵ドライブを交換する

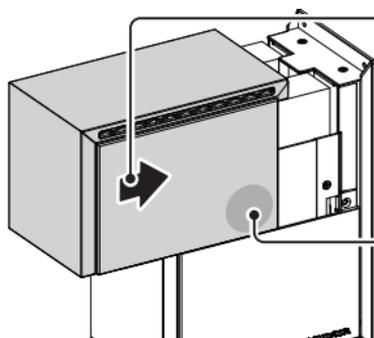
- ※ 内蔵ドライブの基板側が外側(下)になるように差し込みます。逆に差し込むと本製品が破損します。
- ※ 内蔵ドライブに衝撃を与えないようにご注意ください。
- ※ 内蔵ドライブの抜き差しの際に手を挟まないようご注意ください。



7

手順5で外した銀色ネジをとめる(2か所)

8



フロントカバーを  
前面からスライドしな  
がら取りつける

※ この部分が広がらないよう  
に指で押さえながらスライドし  
て差し込んでください。

9 手順3で外した黒色ネジをとめる(2か所)

10 取り外したACアダプターとLANケーブルをつなぎ直す

11 本製品の電源を入れる

※ 【次回以降に電源を入れる方法】(10ページ) 参照

12 交換用HDDが認識されたら、自動で再構築が開始されます。

※ 再構築中はデータへのアクセスが可能です、通常より動作が遅くなります。

#### 再構築完了を確認する方法

- 設定画面を開き、右上に表示される「RAIDの状態」が「正常動作」になっていれば、再構築は完了しています。

# 困ったときには

## よくあるお問い合わせ

よくあるお問い合わせをまとめました。

こちらをご確認ください。

<https://www.iodata.jp/support/qanda/answer/hdl-ta.htm>



## 初回起動時、POWERランプが赤点灯した

ルーターからIPアドレスを取得できていないか、インターネットに接続できていません。

LANケーブルをつなぎ直し、本製品を再起動してください。

⇒【電源を切る方法】(10ページ) 参照

## 複数の端末でアクセスしたい(機種変更)

機種変更した場合など、すでにじぶんフォルダーアカウントがある場合は、以下のようにしてください。

### ● スマホ

32ページの手順を進め、手順3でユーザー名とパスワードを入力して[ログイン]をタップする。その後手順6まで飛び、そのまま読み進める。

※ 故障等で本製品を登録したRemote Link Filesがない場合、設定画面を開けません。「Magical Finder」をインストールし、設定画面を開いてください。

### ● パソコン(Windows/macOS)

36ページの手順を進め、手順3でユーザー名とパスワードを入力して[ログイン]をクリックする。

### ● macOS

37ページの手順を進め、手順4でユーザー名とパスワードを入力して[ログイン]をクリックする。

## 管理者パスワードを忘れた・IPアドレスなどを初期化したい

ピンなどの先の細いものでRESET ボタンを5秒間押し続けてください。POWERランプは初期化中に点滅、初期化終了で点灯します。

### 以下の設定をご購入時の状態に戻ります

- ・ IPアドレス (DHCP 有効) ・ 管理者パスワード
- ・ Remote Link 3 (Remote Link Files など) は再設定が必要
- ・ メディアサーバーのデータベース (再構築されます)

## LAN DISK CONNECT で本製品が表示されない

本製品のPOWERランプが緑点滅していないかご確認の上、緑点滅している場合は点灯に変わるまでお待ちください。

また、以下の方法で機器リストを更新してください。

- Windows  
[ローカル] を右クリックし、[機器リストを更新] をクリックする
  - macOS  
[LAN DISK] の一覧内を右クリックし、[機器リストの更新] をクリックしてください。
- ※ [IO Navi] をインストールしている場合、使っていない場合はアンインストールしてください。また古いLAN DISK CONNECTを使っていた場合、[IO Navi サービス] をアンインストールしてください。

## Remote Link Files でログインできない

Remote Link Files のヘルプをご覧ください。



iOS 版



Android 版

# お守りください

## 安全のために

お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。

ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

### ▼危険・警告・注意表示

 警告	この表示の注意事項を守らないと、死亡または重症を負うことがあります。
 注意	この表示の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

### ▼絵記号の意味

 禁止
 指示を守る

## 警告

-  **本製品を修理・改造・分解しない**  
発火や感電、やけど、故障の原因になります。
-  **雷が鳴り出したら、本製品やACアダプターに触れない**  
発火や感電、やけど、故障の原因になります。
-  **本製品の周辺に放熱を妨げるような物を置かない**  
発火の原因になります。
-  **本製品内に異物(液体・金属等)を入れない**  
コーヒーなどの液体やクリップなどの金属片が本製品内部に入らないようにしてください。特に、天面コネクターに異物を差し込まないでください。感電や発火の原因になります。

 **故障や異常のまま、つながない**  
本製品に故障や異常がある場合は、必ずつないでいる機器から取り外してください。そのまま使うと、発火・感電・故障の原因になります。

 **煙がでたり、変なおいや音がしたら、すぐに使うのを止める**  
そのまま使うと発火・感電の原因になります。

 **本製品の小さな部品(ネジなど)を乳幼児の手の届くところに置かない**  
誤って飲み込み、窒息や胃などへの障害の原因になります。万一、飲み込んだと思われる場合は、ただちに医師にご相談ください。

 **本製品の取り付け、取り外し、移動は、必ずパソコン本体・周辺機器および本製品の電源を切り、コンセントからプラグを抜いてからおこなう**  
感電の原因になります。

 **ぬらしたり、水気の多い場所で使わない**  
水や洗剤などがかかると、隙間から浸み込み、発火・感電の原因になります。

- お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺でのご使用は、特にご注意ください。
- 水の入ったもの(コップ、花びんなど)を上には置かないでください。
- 万一、本製品がぬれた場合は、絶対に使わないでください。

## ▼ 電源(ACアダプター・コード・プラグ)について

 **ACアダプターや電源コードは、添付品または指定品のもの以外を使わない**  
電源コードから発煙したり、発火の原因になります。

 **じゅうたん、スポンジ、ダンボール、発泡スチロールなど、保温・保湿性の高いものの近くで使わない**  
発火の原因になります。

 **添付のACアダプターや電源コードは、他の機器につながらない**  
発火や感電の原因になります。添付のACアダプターや電源コードは、本製品専用です。

 **熱器具のそばに配線しない**  
電源コード被覆が破れ、発火や感電、やけどの原因になります。

 電源コードやACアダプターにものをのせたり、引っ張ったり、折り曲げ・押しつけ・加工などはしない

電源コードがよじれた状態や折り曲げた状態で使用しないでください。

電源コードの芯線(電気の流れるところ)が断線したり、ショートし、発火・感電の原因になります。

 AC100V (50/60Hz) 以外のコンセントにつながらない

発火、発熱の恐れがあります。

 電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない

電源プラグを持って抜いてください。電源コードに傷が付き、発火や感電の原因になります。

 ゆるいコンセントにつながらない

電源プラグは、根元までしっかりと差し込んでください。根元まで差し込んでゆるみがあるコンセントにはつながらないでください。発熱して発火の原因になります。

 煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐにコンセントから電源プラグを抜く

そのまま使うと発火・感電の原因になります。

 コンセントまわりは定期的に掃除する

長期間電源プラグを差し込んだままのコンセントでは、つまったホコリが湿気などの影響を受けて、発火の原因になります。(トラッキング現象)

定期的に電源プラグを抜いて乾いた布で電源プラグをふき掃除してください。

 テーブルタップを使用する時は定格容量以内で使用する、たこ足配線はしない

テーブルタップの定格容量(1500Wなどの記載)を超えて使用すると、テーブルタップが過熱し、発火の原因になります。

## 注意

-  **本製品を踏まない**  
破損し、けがの原因になります。  
特に、小さなお子様にはご注意ください。
-  **人が通行するような場所に配線しない**  
足を引っ掛けると、けがの原因になります。
-  **長時間にわたり一定の場所に触れ続けない**  
本製品を一定時間使うと、本製品が熱く感じる場合があります。  
長時間にわたり一定の場所に触れ続けると、低温やけどを起すおそれがあります。

## 使用上のご注意

### 【重要】定期的にバックアップしてください

本製品は精密機器です。突然の故障等の理由によってデータが消失する場合があります。

万一に備え、本製品内に保存された重要なデータについては、必ず定期的に「バックアップ」してください。

本製品または接続製品の保存データの毀損・消失などについて、弊社は一切の責任を負いません。また、弊社が記録内容の修復・復元・複製などを行うこともできません。なお、何らかの原因で本製品にデータ保存ができなかった場合、いかなる理由であっても弊社は一切その責任を負いかねます。

※ バックアップとは

本製品に保存されたデータを守るために、別の記憶媒体(HDD、BD/DVDなど)にデータの複製を作成することです。(データを移動させることは「バックアップ」ではありません。同じデータが2か所にあることを「バックアップ」と言います。) 万一、故障や人為的なミスなどで、一方のデータが失われても、残った方のデータを使えますので安心です。不測の事態に備えるために、必ずバックアップしてください。

### お手入れ方法

本製品について汚れなどを落とす場合は、電源コードを抜いてから、柔らかいきれいな布で軽く乾拭きしてください。

- 汚れがひどい場合は、水で十分に薄めた中性洗剤に布をひたして、よく絞ってから汚れを拭き取り、最後に乾いた布で拭いてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、消毒薬、化学ぞうきん、クリーナー/クリーニングペーパーなどは使わないでください。変質やひび割れなどの原因になります。

### 【重要】譲渡・廃棄の際のご注意

- 情報漏洩などのトラブルを回避するために、システム初期化時の内蔵ドライブ完全消去等を利用し、データを完全消去してください。
  - ※ HDD上のソフトウェアについて  
HDD上のソフトウェアを削除することなくHDDを譲渡すると、著作権法に抵触する場合があります。
- 本製品を廃棄する際は、地方自治体の条例にしたがってください。

### 【重要】最新のファームウェアをご利用ください

本製品のハードウェア保証適用のために、ファームウェアまたはソフトウェアは常に弊社が提供する最新版にアップデートしてご利用ください。最新版でない場合、保証適用を受けられない場合もあります。

※ インターネットにつないでいると、自動的に最新版を入手する機能があります。

### 本製品はローカルネットワーク上でご利用ください

本製品にグローバルIPアドレスを割り当て、直接インターネットに公開すると非常に危険です。ルーターを設置してインターネットから攻撃を受けないようにするなど、お客様にてセキュリティ確保をお願いいたします。

この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

# アフターサービス

## 重要

- 本製品の修理対応、電話やメール等によるサポート対応、ソフトウェアのアップデート対応、本製品がサーバー等のサービスを利用する場合、そのサービスについては、弊社が本製品の生産を完了してから5年間を目途に終了とさせていただきます。ただし状況により、5年以前に各対応を終了する場合があります。
- 個人情報は、株式会社アイ・オー・データ機器のプライバシーポリシー (<https://www.iodata.jp/privacy.htm>) に基づき、適切な管理と運用をおこないます。

## お問い合わせについて

### 1 お問い合わせいただく前に以下をご確認ください

▶ <https://www.iodata.jp/support/>

- ① 「Q&A よくあるご質問」を参照
- ② 最新のソフトウェアをダウンロード



### 2 それでも解決できない場合は、サポートセンターへ



電話 ▶ **050-3116-3017**

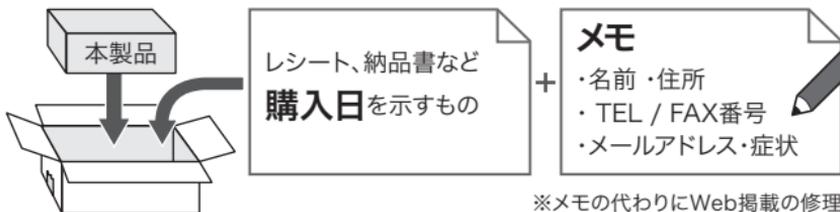
受付時間 9:00～17:00 月～金曜日  
(祝祭日・年末年始・夏期休業期間をのぞく)

メール ▶ [https://www.iodata.jp/  
support/after/esupp.htm](https://www.iodata.jp/support/after/esupp.htm)



## 修理について

以下を梱包し、修理センターへお送りください



※メモの代わりにWeb掲載の修理依頼書を印刷すると便利です。

〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地  
株式会社 アイ・オー・データ機器 修理センター 宛

※厳重に梱包してください。

弊社到着までに破損した場合、有料修理となる場合があります。

※紛失をさけるため宅配便でお送りください。

※送料は、発送時はおお客様ご負担、返送時は弊社負担です。



【液晶ディスプレイ】パネル部分を持つと、パネル内部が破損します。取扱いには、充分注意してください。

【データ】内部にデータがある場合、厳密な検査のため、内部データは消去されます。何卒、ご了承ください。バックアップ可能な場合は、お送りいただく前にバックアップしてください。弊社修理センターではデータの修復はおこなっておりません。

【見積無料】有料修理となる場合は、先に見積をご連絡します。金額のご了承をいただいでから、修理いたします。

【シール】お客様が貼られたシールなどは、修理時に失われる場合があります。

【保証内容】ハードウェア保証規定をご確認ください。

【控え】製品名とシリアル番号(S/N)はお手元に控えておいてください。

【修理について詳しくは】以下のURLをご覧ください(修理依頼書はここから印刷できます)。

▶ <https://www.iodata.jp/support/after/>

**【重要】本製品はデータを暗号化しており、データ復旧はできません**

本製品は、プライバシー保護のため内部データを暗号化しております。そのため、弊社でご案内しているデータ復旧サービスなどでデータを復旧することはできません。予めご承知おきください。

## ハードウェア保証規定

---

弊社のハードウェア保証は、ハードウェア保証規定（以下「本保証規定」といいます。）に明示した条件のもとにおいて、アフターサービスとして、弊社製品（以下「本製品」といいます。）の無料での修理または交換をお約束するものです。

### 1 保証内容

取扱説明書（本製品外箱の記載を含みます。以下同様です。）等にしがった正常な使用状態で故障した場合、お買い上げ日が記載されたレシートや納品書をご提示いただく事により、お買い上げ時より 1 年間 無料修理または弊社の判断により同等品へ交換いたします。

### 2 保証対象

保証の対象となるのは弊社が提供する最新のファームウェア、またはソフトウェアを適用した本製品の本体部分のみとなります。ソフトウェア、付属品・消耗品、または本製品もしくは接続製品内に保存されたデータ等は保証の対象とはなりません。

### 3 保証対象外

以下の場合には保証の対象とはなりません。

- 1) 販売店等でのご購入日から保証期間が経過した場合
- 2) 中古品でご購入された場合
- 3) 火災、地震、水害、落雷、ガス害、塩害およびその他の天災地変、公害または異常電圧等の外部的事情による故障もしくは損傷の場合
- 4) お買い上げ後の輸送、移動時の落下・衝撃等お取扱いが不適当なため生じた故障もしくは損傷の場合
- 5) 接続時の不備に起因する故障もしくは損傷、または接続している他の機器やプログラム等に起因する故障もしくは損傷の場合
- 6) 取扱説明書等に記載の使用方法または注意書き等に反するお取扱いに起因する故障もしくは損傷の場合
- 7) 合理的使用方法に反するお取扱いまたはお客様の維持・管理環境に起因する故障もしくは損傷の場合
- 8) 弊社以外で改造、調整、部品交換等をされた場合
- 9) 弊社が寿命に達したと判断した場合
- 10) 保証期間が無期限の製品において、初回に導入した装置以外で使用された場合
- 11) その他弊社が本保証内容の対象外と判断した場合

#### 4 修理

- 1) 修理を弊社へご依頼される場合は、本製品と本製品のお買い上げ日が記載されたレシートや納品書等を弊社へお持ち込みください。本製品を送付される場合、発送時の費用はお客様のご負担、弊社からの返送時の費用は弊社負担とさせていただきます。
- 2) 発送の際は輸送時の損傷を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材をご使用いただき、輸送に関する保証および輸送状況が確認できる業者のご利用をお願いいたします。弊社は、輸送中の事故に関しては責任を負いかねます。
- 3) 本製品がハードディスク・メモリーカード等のデータを保存する機能を有する製品である場合や本製品の内部に設定情報をもつ場合、修理の際に本製品内部のデータはすべて消去されます。弊社ではデータの内容につきましては一切の保証をいたしかねますので、重要なデータにつきましては必ず定期的にバックアップとして別の記憶媒体にデータを複製してください。
- 4) 弊社が修理に代えて交換を選択した場合における本製品、もしくは修理の際に交換された本製品の部品は弊社にて適宜処分いたしますので、お客様へはお返しいたしません。

#### 5 免責

- 1) 本製品の故障もしくは使用によって生じた本製品または接続製品内に保存されたデータの毀損・消失等について、弊社は一切の責任を負いません。重要なデータについては、必ず、定期的にバックアップを取る等の措置を講じてください。
- 2) 弊社に故意または重過失のある場合を除き、本製品に関する弊社の損害賠償責任は理由のいかんを問わず製品の価格相当額を限度といたします。
- 3) 本製品に隠れた瑕疵があった場合は、この約款の規定に関わらず、弊社は無償にて当該瑕疵を修理し、または瑕疵のない製品または同等品に交換いたしますが、当該瑕疵に基づく損害賠償責任を負いません。

#### 6 保証有効範囲

弊社は、日本国内のみにおいて本保証規定に従った保証を行います。本製品の海外でのご使用につきましては、弊社はいかなる保証も致しません。 Our company provides the service under this warranty only in Japan.

# Memo

## 【ご注意】

- 1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
- 2) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関する設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んだでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じてても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意ください。
- 3) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
- 4) 私的使用のための複製など著作権法上認められた場合を除き、本製品を使用して作成した画像、音声等を、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。
- 5) 著作権を侵害するデータを受信して行うデジタル方式の録画・録音を、その事実を知りながら行うことは著作権法違反となります。
- 6) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

## 【商標について】

記載されている会社名、製品名等は一般に各社の商標または登録商標です。

## 【ユーザー登録はこちら】

ユーザー登録にはシリアル番号 (S/N) が必要となりますので、メモしておいてください。シリアル番号 (S/N) は本製品貼付のシールに印字されている 12 桁の英数字です。  
(例：ABC1234567ZX)

## 【使用ソフトウェアについて】

- ・本製品には、GNU General Public License Version3 (GPLv3) に基づいた、ソフトウェアが含まれています。変更済み GPL 対象モジュール、GNU General Public License、及びその配布に関する条項については、以下の Web ページをご確認ください。  
<http://www.gnu.org/licenses/gpl-3.0.ja.html>  
これらのソースコードで配布されるソフトウェアについては、弊社ならびにソフトウェアの著作権者は一切のサポートの責を負いませんのでご了承ください。
- ・本製品には、OpenSSL Project が、OpenSSL Toolkit(<http://www.openssl.org>) での使用のために開発したソフトウェアが含まれています。  
本製品には Eric Young (eay@cryptsoft.com) により作成された暗号化ソフトウェアが含まれています。  
本製品には Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com) により作成されたソフトウェアが含まれています。  
This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (<http://www.openssl.org/>)  
This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).  
This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

【アンケートはこちら】

お気づきの点がございましたら、  
アンケートにご協力願います。



進化する明日へ Continue thinking

株式  
会社

**アイ・オー・データ機器**

<https://www.iodata.jp/>

# I-O DATA